



庄原自治振興区だより

第 149 号 平成 31 年 3 月 20 日 発行

〒727-0013
庄原市西本町二丁目 17 番 15 号

TEL/FAX
(0824) 72-3777



防犯講演会

庄原自治振興区では、2月26日(火)、庄原警察署長・三上達也氏を講師に迎えて、「庄原市の防犯の情勢と課題について」のご講演を頂きました。

【講演の概要】

広島県警では、年間の交通死亡事故 75 件以下を目指す「アンダー75 作戦」、特殊詐欺被害額 5 億円以下を目指す「アンダー5 作戦」、両方の数字を合わせて「アンダー80 作戦」を実施している。特殊詐欺被害の状況は、平成 29 年が 405 件(約 10 億 2 千万円)、平成 30 年が 177 件(約 3 億 5 千万円)で、件数・被害金額とも減少したが、庄原市内でも特殊詐欺で、サギ被害が発生している。最近、水際で被害を止めていただいた事例が、総領や東城でありました。

「元号が変わるので、キャッシュカードの変更が必要」と、文書を送りつけて、キャッシュカードをだまし取るという、新しいサギの手口が発生しているので注意してほしい。

不審に思ったら気軽に、警察へ相談してほしい。

交通事故は、一般的に通勤・退勤時間帯に多く発生しているが、庄原市では昼間の交通事故が比較的に多い。広島県全体では平成 21 年度以降、「65 歳以上の高齢者が当事者となる事故」が、年々増え続けている。「高齢者を交通事故から守ろう」から、情勢が変化している。

高齢者は瞬時に注意(危険)を回避することが出来にくくなっており、とっさの判断を要する交差点などは、特に、注意力を高める必要がある。運転免許証返上の判断は難しいことだが、近年、高齢者のより安全な運転を補助するサポートカーも改良されている。

横断歩道で止まっていますか？歩行者がある横断歩道の車両停止状況(JAF 調査)では、広島県は 1.0%で、全国で 2 番目のワースト県(全国平均は 8.6%)である。

登下校時などには、特に早めの停止に心がけることが肝要です。最後に、「一年間お世話になりましたが、3月11日をもって転勤することになりました。庄原市内の駐在署(12ヶ所)は地域と仲良くし、地域の課題を住民と一緒に解決するよう指導して来た」と話されました。

なお、3月11日付けの人事異動で、三上達也氏は広島県警本部交通参事官兼交通企画課長に転勤され、後任は、元庄原署次長の山田博實氏になります。



訂正とお詫び

庄原自治振興区だより第 148 号(2月20日発行)「暮れから新春の地域行事」の紙面中、永末自治会の“とんど写真”を誤って、他地区自治会のとんど写真を掲載いたしました。改めまして、本誌にて永末自治会で行われた写真を掲載し、訂正させていただきます。大変ご迷惑をおかけしました事をお詫び申し上げます。

永末自治会



第 11 回役員会報告

(2月26日) 協議事項等は以下の通りです。

- (1) H30 年度自治会活性化促進補助金について
 - ・自治会活動費(後期分)支払い・・・・・・・・・・・・・・・・H31年3月1日(金)
- (2) 「いのちのバトン」更新について
 - ・安全・安心カード・世帯総括表・・・・・・・・・・・・3月26日役員会にて配布
- (3) 赤い羽根 ESD 支援プロジェクト募金について
 - ・庄原中学校地域活動支援・・・・・・・・・・・・今年度で最後として、20,000 円を募金
- (4) 自治会活動報告・・・・・・・・・・・・2月度は時間の関係で延期、次回は 3 月 26 日西上自治会

いのちのバトン「世帯総括表」・「安全・安心カード」を更新します。

本区では、地域のみなさまが「安全で安心して暮らせる地域社会」を作るため様々な活動を行っています。

その中で特に重要な取り組みとして、尊い命を守るために平成 24 年度から「いのちのバトン」を全世帯へ配布し冷蔵庫で保管し緊急時に活用しています。

この「いのちのバトン」に入っている「世帯総括表」・「安全・安心カード」が 2 年を経過していることから、最新の情報にするため一斉に更新をいたします。

また、「いのちのバトン」を冷蔵庫に保管している意思を伝えるため、平成 29 年度に「いのちのバトン、マグネットシート」を配布し、冷蔵庫の正面に貼っていただくこととしています。新たな「世帯総括表」・「安全・安心カード」は、3 月下旬ごろ、自治会長を通して配布いたしますので、ご協力をお願いします。



冷蔵庫表面に貼る
マグネットシート

～災害から命を守るために～

第 1 弾「自分たちの地域を知ろう」防災研修会を行いました。

本区では、昨年の西日本を中心に発生した「豪雨災害」を契機に、身の周りに発生する「自然災害に対する危機感」が自らの課題であることを経験しました。

そのため、自主防災活動をより一層進めるため、本年度 2 回の「防災研修会」を計画しました。

その第 1 回の防災研修会を、平成 31 年 1 月 25 日に市民会館集会室で自治会長・自主防災会役員を対象に 46 名が参加して行いました。

最初、「自主防災活動の進め方」について広島県自主防災アドバイザー 一柳迫長三氏（庄原市出身）により近年の災害の特徴と命を守るための課題等について講演をいただき、その後 7 班に別れて地域ごとに

「地域を知ろう」をテーマに危険箇所・避難経路など意見を出し合い地図上に図示する「災害図上訓練（DIG 訓練）」を行いました。

初めての試みで、『危険がない地域と思っていたが、危険なところもあることを理解した』『河川や山沿いで心配な面があったが、改めて課題を認識した』などの意見が出された。時間不足の点はありましたが、意義ある研修会となりました。次回は 3 月 15 日、「避難所運営について」「要援護者の対応について」をテーマに研修会を実施します。



平成 30 年度庄原市自治振興区連合会視察研修会

12 月 10 日(月)、視察先の岡山県真庭市「中和(ちゅうか)地域づくり委員会」は、248 世帯 610 人で構成された地域でした。「中和地域づくり委員会」では、平成 26 年度から「地域資源を活用した経済循環と地域人口の増加に向けた取り組み」を目標に掲げ 4 つの事業に取り組みされており、地産地消、移住・定住促進への活発な取り組み実践を学びました。

1. 「薪プロジェクト」…「中和地域新生産組合」を結成。化石燃料の代わりに住民から地元の丸太を購入、薪に加工して地域内宿泊施設の薪ボイラーの燃料として売却。
2. 「野菜プロジェクト」…「中和の新鮮おとどけ隊」を結成。家庭菜園などで栽培した自家用野菜など、余剰分を道の駅に出荷して販売。
3. 「真庭なりわい塾」…公募で県内外から集まった塾生が 1 年間、毎月 1 泊 2 日の日程で地域の歴史文化・暮らしを学ぶ。1 年目「地域探訪」地域を歩き、人々と話し、地域を知る。2 年目「実践講座」4 コース（農業・林業・里山資源・地域づくり）からコースを選び、実際に現場作業に加わる。
4. 「空き家再生プロジェクト」…集落と塾生が協力して「空き家」調査を実施。持ち主の意向で 15 軒程度が賃貸や売買が可能と確認された。すでに移住者への賃貸・売買が行われた家もあるが、さらにマッチングの充実を計り移住・定住を進める。



防 災 訓 練

— 裁判所通自治会 —

11月30日(金)裁判所通自治会は、毎年恒例の本町相扶園の防災訓練に参加しました。実際に車いすを使用して、段差のある場所での注意点や、火災の時の初期消火の注意点、消火器の使用方法、AEDの使い方などを実習しました。救急蘇生方法については毎年変わってきていると感じました。緊急時にはまず大きな声を出して周りの人達に知らせて一緒に助けるようにしましょう。現在使用中の住民告知端末は音量を小さくせず、放送を聞くように心がけましょう。



自衛消防部の活動について

— 西下自治会 —

西下自治会自衛消防部は、昭和41年に地区内の防火水槽(場所庄原小学校校庭内)設置に伴い、地区内や地区周辺で発生した火災に対し、消防署や団員が到着するまでの、初期消火活動を目的に結成され今年で53年目を迎えました。

新年恒例の出初식을1月13日午前8時から新興ビル駐車場にある防火水槽を利用して、自衛消防部の消防機具点検やポンプ操法訓練を行いました。また、緊急時の対応に備えて地区内に設置されている消火栓の位置や、開閉操作の動作確認も併せて行いました。

これまでの主な消火活動としては、昭和44年に新道下日赤社宅(院長宅)の住宅火災に部長の呼びかけで部員数名がいち早く駆けつけ初期消火活動しボヤ程度で済ませました。

また、地区内の飲食店の火災や、平成2年には、隣り区の住宅火災にも一番に駆けつけ消火活動を行いました。

昭和46年には、地区内への防火水槽設置や、消防活動に対して市消防団長から感謝状を受けており、平成元年宝くじコミュニティ自主防災整備事業補助金を受けC1級の小型動力ポンプを導入して、現在部員28名で防災活動を行っています。



人 権 学 習 会



職場や家庭内そして地域の人々とのふれあいを通して、自分で自分の生き方を選択し、女性はもちろん全ての人が「自分の花」をイキイキと咲かせることのできる、多様性尊重社会の実現をめざすきっかけとなる人権学習会でした。

本年度も、下記の自治会で「人権学習会」が行われました。

美湯ハイツ自治会	(10/7)	西中自治会	(1/20)	裁判所通自治会	(2/9)
石丸自治会	(10/26)	紅屋自治会	(2/3)	大胡通自治会	(2/9)
永末自治会	(11/21)	柳原自治会	(2/3)	西下自治会	(2/12)
宮内自治会	(11/25)	大久保東自治会	(2/8)	新道上自治会	(2/17)
川手上自治会	(12/2)	大黒東自治会	(2/9)	西県営住宅自治会	(2/17)
大歳上自治会	(12/16)	大黒上自治会	(2/9)	西上自治会	(2/24)

さくら会 (大正琴)

庄原自治振興区 専門部会の紹介 ⑩

私達さくら会は琴修会広島備後支部に所属、月2回、講師の田原恵美先生に指導を受けながら大正琴の練習をしています。年令を重ねるにつれ、思うように上達出来ませんが、和やかな雰囲気の中楽しみながら続けて、早いもので15年目を迎えます。よいとこ祭の芸能祭・自治振興区活動報告のステージ発表・介護施設への慰問などに参加し、未熟ながらも様々な場で日頃練習している楽曲を発表させてもらっています。いつまでも音楽や楽器に触れられる事が精神的にもとても良い事だと思いますので、これからも体調の許す限り皆と続けられたらと願っています。座って出来る楽器なので、皆様もぜひ一緒に大正琴を弾いてみましょう！！

活動日：毎月第2・4火曜日

時間：午後6時～7時30分

連絡先：庄原自治振興センター 電話 0824-72-3777



子ども将棋教室 最終日「将棋大会」開催！！



平成30年度生涯学習事業の一環として、昨年9月から本年2月まで半年にわたり、月2回“子ども将棋教室（講師：亀山紀林さん）”を開催しました。教室には小学生を対象に初心者と経験者を合わせ10名の参加がありました。半年間の長丁場にもかかわらず、一回も休まず出席した子どもは3名おり、意欲のある教室となりました。

教室最終日の2月23日（土）には大会を開催。終始緊張した雰囲気の中で真剣勝負が繰り広げられました。

初心者の部は総当たり戦で、古川斗己君(庄原小2年)が優勝。経験者の部は熱戦のすえ、森宗雅斗君(庄原小4年)が優勝しました。初心者も経験者もいつもと違った大会とあって盛り上がり、白熱した大会となりました。



平成31年度 パソコン教室 5月から開催予定！ 受講者募集中！

平成31年度のパソコン教室は5月より開催致します。

今年の講座は、基本操作を中心にワード・エクセルおよび、インターネット等の項目を予定しています。詳しい内容は、庄原自治振興センターにお問い合わせください。

【受講料】：1回1,900円(開講期間5月～3月まで) 【開催日】：第1・第3火曜日 14時～16時

【テキスト・教材代】：2,600円(第1回受講日に集金) ※ 第1回目は5月7日(火)13時45分～

・内容によっては別途料金がかかる場合があります。【定員】：20名(定員になり次第締め切ります)

【受付期間】：平成31年3月28日(木)～4月5日(金) 【場所】：庄原市民会館 研修室F

※ 受講生は庄原自治振興区民優先とし、応募者数が5名以下の場合には開催出来ません。

※ 月の初回時に回数分受講料を集金、事前連絡で欠席の場合は次回講座分に充当します。

※ お申込み・問い合わせは庄原自治振興センターまで 電話 0824-72-3777



4月の振興区主催行事予定

2日(火) 総務企画室会議 13:30～

9日(火) 理事会 13:30～

16日(火) 環境美化・防犯パトロール 9:00～

(宮内、永末、大久保 東・西、美湯ハイツの各自治会長)

23日(火) 役員会 13:30～



・毎週1回 青少協防犯声掛けパトロール 16:30～

編集後記

今年の冬は、積雪も少なく比較的暖冬で、水道管の破裂・雪かきに苦勞することもなく、その点は穏やかに過ごせたと思います。

冬眠から覚め、花粉症の人には辛い時期ですが、積極的に外に出て、野菜や花づくり、ウォーキング等で身体を動かしましょう。

春には元号が変わり、新しい時代を迎えます。そのことを期して、ささやかですが素晴らしい健康食品である「大豆づくり」に挑戦し、豆腐や味噌づくりをして見ようと思います

U記